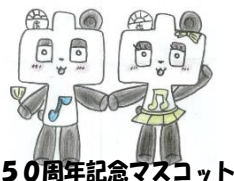


「つたえよう」「わかりあおう」「つながろう」 学校だより



50周年記念マスコット



伸びゆく子

令和3年2月26日  
横浜市立中沢小学校  
3月 号

## この一年

校長 小倉 克彦

春寒次第に緩み、春の息吹が感じられるようになりました。皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

さて、2月末にPTA 広報誌「なかざわ」が発行されました。職員の一人が配布された広報誌のページを開き、しばらく見入っていました。放課後の慌ただしい時間にはマッチしない光景です。最後に「すごいな」とつぶやき会議へ移動していきました。広報誌には、子どもたちが本年度の行事等で活躍した様子、日常の何気ない場面が写真とコメントで綴られています。職員がつぶやいた「すごいな」には、本年度様々な制限がかかる中、子どもたちがよくここまで頑張ったと改めて実感したこと、そしてそんな子どもたちの活躍に直接触れる機会が少なかった保護者や地域の皆様に向けて「伝えたい」と広報誌の作成に取り組んだPTA 役員・合同委員の皆様の熱意に対して敬意を表す気持ちが込められていたのだと思います。そして、わたしは広報誌に心を打たれる職員もまた、思いをもって一年間を過ごしてきたのだらうと思っています。一緒に何かをする機会は少なかったけれど、つながりを大切に過ごしてきたこの一年を象徴しているように思えました。

「例年」が通じない状況で、有村会長をはじめとするPTA 役員・合同委員の皆様、学校の取組にご理解いただき、ご協力、ご支援いただいた保護者、地域の皆様に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

中沢の子どもたちはこの一年間、様々な課題を乗り越え大きく成長したと思っています。「休校中の不安、もどかしさをよく乗り越えました。」「三カ月ぶりの学校生活に慣れてくれました。」「6月に笑顔で登校する子どもたちをみて心が震えるほどうれしかったことを思い出します。」「登校する、挨拶する、友だちと過ごす、勉強する、給食を食べる・・・」子どもたちはこれまであたりまえだった日常の場面を大切に過ごしていたように感じます。今年は大勢の子どもたちが校長室を訪ねてくれました。内容はクラスで取り組んでいることの報告、行事に向けた要望、全校向けに発信したいこと等様々ですが、わたしに思いを伝える言葉や表情からは教室にいるたくさんの子どもの思いや取組の姿まで伝わりました。そういえば「校内のあちこちで挨拶の音が響くようになった」「自信をもって表情豊かに話し合う姿が日常になった」「人に積極的にアプローチする場面がたくさん見られるようになった」等、子どもたちの成長を感じる場面がたくさんありました。最終日には「本当によくがんばりました。」と子どもたちに伝えたいと思います。

今年度の学校生活は残すところ6年生は15日、1～5年生は20日です。一年間で一番成長する一カ月です。この後も子どもたちとともに一日一日を大切に過ごしてまいります。よろしくをお願いします。